

栗田 悟氏が日本港湾協会企画賞を受賞しました

北海道開発局 港湾空港部

(一社)北海道建設業協会副会長の栗田 悟氏が(公社)日本港湾協会(宗岡 正二会長)「日本港湾協会企画賞」を受賞しました。

日本港湾協会企画賞は、「港湾に関する映像、著作、イベント等において、その企画表現が特に優れ、港湾等に関する理解の増進並びに整備の促進への貢献等が顕著であった個人又は団体」を顕彰するものです。

栗田氏は、書籍『石狩湾新港の軌跡―第1船から現在、そして未来へ―』(建新総合研究所)を編集したもので、石狩湾新港の整備・管理・運営等に関わってきた田岡克介前石狩市長へのインタビューを中心に、第1船の入港、港湾運営、企業誘致、出来事や関わった人物や当時の社会情勢などをまとめたものです。港湾整備の記録などは多数出版例があるが、本記録は対話形式だからこそ引き出せた貴重な記録になった。アーカイブとして詳細に記録され、石狩湾新港に関する理解増進に寄与しているものと高く評価されました。

表彰式は5月末に長崎県佐世保市で開催する日本港湾協会総会において行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため表彰式は取り止めになりました。このため、推薦者である北海道開発局が7月3

日に伝達式を開き、魚住 聡港湾空港部長から栗田氏に表彰状を手渡し、その功績をたたえました。

栗田氏は「荣誉ある賞をいただき大変うれしく思う。田岡前石狩市長の記憶を記録として残すことができた。これからも北海道の港を記録に残し、発信していきたい」と抱負を述べられました。



「石狩湾新港の軌跡」
第1章 石狩市民百年の夢を語る(田岡市長インタビュー)
第2章 草創期昭和の歩み
第3章 平成の記憶
の3章構成で、石狩湾新港の歩みをたどっている



伝達式後の記念写真(右から2番目が栗田氏)